

平成30年度「新生児スクリーニング事業基礎研修会」日程表

<対象> 都道府県・政令指定都市の母子保健所管部門で母子保健を担当されている方

産科等医療機関で新生児スクリーニングに携わっている医師、看護職等

新生児スクリーニング検査機関施設開設責任者およびスクリーニング検査初心者の方等 50名

<期間> 平成30年6月22日（金）

月日	時間	内容	講師	講師所属
6/22 (金)	10:00	受付		
	10:15~10:25	開講・オリエンテーション		
	10:30~11:10	母子保健の動向と先天性代謝異常症等検査について	梅木 和宣	厚生労働省子ども家庭局母子保健課課長補佐
	11:10~12:10	新生児スクリーニング基本概念 —意義、歴史と現況（対象疾患を含む）、自治体、採血医療機関、検査機関および精密検査・診断・治療機関の役割と連携—	窪田 満	国立成育医療研究センター病院総合診療部部長
	13:00~13:50	新生児スクリーニングで発見された小児の登録と長期追跡の重要性—全国ネットワーク化による情報の共有—	山口 清次	島根大学医学部小児科特任教授
	13:50~14:40	わが国の新生児スクリーニング外部精度管理システムとその実施状況—最近の外部精度管理データ解析からみた検査施設の課題—	但馬 剛	国立成育医療研究センター研究所マススクリーニング研究室室長
	14:40~15:30	新生児スクリーニングにおける行政の役割—新生児スクリーニングのより良い運営に向けた行政の取り組み—	山崎 夏美	埼玉県保健医療部健康長寿課母子保健担当（保健師）
	15:30~16:20	新生児スクリーニングの検査機関のあり方—新生児スクリーニング検査機関の適正な要件—	福士 勝	日本マススクリーニング学会教育研修委員会 札幌イムノ・ダイアグノスティック・ラボラトリー所長
	16:20~16:40	総合討議・まとめ	窪田 満 福士 勝	

** 研修コーディネーター：札幌イムノ・ダイアグノスティック・ラボラトリー所長 福士 勝氏